

RICOH

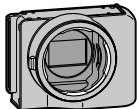
GXR MOUNT A12

使用説明書

本製品のシリアル番号は、本体底面に記載されています。

パッケージを確認する

パッケージを開けたら同梱品を確認しましょう。



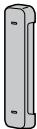
レンズマウントユニット

シリアル番号は、本体底面に記載されています。



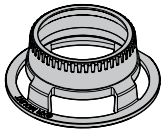
マウントキャップ

レンズマウントユニットに装着されています。

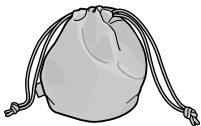


端子キャップ

レンズマウントユニットに装着されています。



チェッカー



ソフトケース

- 使用説明書（本書）
- 保証書

お客様登録のお願い

この度は、リコー製品をお買い求めいただきありがとうございます。
リコーは、ご購入商品に関する適切なサポートやサービスを提供するために、お客様登録をお願いしております。

本製品を GXR ボディと同時に買い求めいただいた場合には、ボディのお客様登録の際にまとめて本製品の登録ができます。

お客様登録は、以下の弊社 Web サイトからお願い致します。

<http://www.ricoh.co.jp/dc/regist/>

なお、ご登録いただいた方には、Eメール（リコーフォトギャラリー RING CUBE の情報やファームウェアなどのサポート情報掲載）の配信を行っております。

はじめに

本製品は、専用のボディにセットし、ライカ M マウントレンズ等を装着してご使用いただけます。

撮影や再生機能の操作、設定方法の詳細および使用上の注意については、ボディの使用説明書に記載しています。この使用説明書では、本レンズマウントユニットをボディにセットした時のみご利用いただける機能や操作方法について補足説明しています。**GXR（ボディ編）の使用説明書もあわせて参照してください。**

本製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に、本書を最後までお読みください。本書が必要になったとき、すぐに利用できるよう、お読みになった後は、必ず保管してください。

株式会社リコー

安全上のご注意について	安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。
テスト撮影について	必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。
著作権について	著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽などの著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複製、改変などすることは禁じられています。
ご使用に際して	万一、本製品などの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書について	本製品に付属している保証書は日本国内において有効です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
電波障害について	他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、以下のようにしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビやラジオなどからできるだけ離す ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える ・コンセントを別にする

本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。

© 2011 RICOH CO.,LTD.

本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。




本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、巻末をご覧の上ご連絡ください。

レンズの詳細は、レンズの販売会社にお問い合わせください。

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って発生する可能性がある内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⊘の中に具体的な禁止内容が描かれています。

表示例

⊘意味：接触禁止

⊘意味：分解禁止





本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

危険




本製品を分解、修理、改造しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険があります。

警告

-
-  この製品を幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児・子供には「安全上のご注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故発生の原因となります。
-
-  落下や損傷により内部が露出したときは、内部には手を触れないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。感電や火傷に注意しながら速やかにバッテリーを取り出してください。破損したときは、お買い上げの店またはリコー修理受付センターに連絡してください。
-
-  台所などの湯煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
-
-  引火性ガスやガソリン、ベンジン、シンナー等の近くで使用しないでください。爆発や火災、火傷の原因となります。
- ・ 航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故等の原因となります。
-

 **注意**

 本製品を濡らさないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

別売り品について

別売り品をお使いになるときは、各製品の使用説明書を操作の前に必ずお読みください。

もくじ

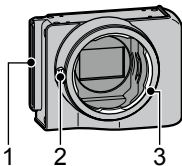
パッケージを確認する	2
お客様登録のお願い.....	4
はじめに	5
安全上のご注意.....	8
各部の名称.....	16
機器のバージョンアップ	17
ファームウェアのアップデート	17
レンズを取り付ける	19
レンズが使用できるか確認する	19
レンズの取り付け.....	22
レンズの取り外し.....	22
センサーを清掃する	23
撮影モード.....	24
フォーカスについて.....	24

P : プログラムシフトモード / A : 絞り優先モード.....	25
S : シャッタースピード優先モード.....	25
M : マニュアル露光モード.....	26
SCENE モードの追加.....	27
撮影時画面拡大.....	28
アップダウンダイヤルの機能追加.....	29
オートリサイズズームの対応サイズ追加.....	29
撮影設定メニュー.....	30
[画質・サイズ].....	30
静止画の場合.....	31
動画の場合.....	32
[ノイズリダクション].....	33
[ホワイトバランス].....	33
[ISO 感度].....	34
[フォーカスアシスト].....	35
[周辺光量補正].....	35
[ディストーション補正].....	36

[色シェーディング補正]	36
[フラッシュ時シャッター制限]	37
キーカスタム設定メニュー	38
[マイセッティング登録]	38
[マイセッティング編集]	38
[シャッターボタン確定]	39
[ADJ. レバー設定]	39
[ADJ. ISO ダイレクト変更]	40
[Fn1 / Fn2 ボタン設定]	40
[マイセッティング削除]	40
[キーカスタム設定初期化]	41
[ズームボタン設定]	41
セットアップメニュー.....	42
[ISO AUTO-HI 設定]	42
[デジタルズーム切替]	42
[ターゲット位置拡大再生]	43
[操作音] の変更.....	43

[撮影拡大表示解除]	44
[フォーカスアシスト選択]	44
主な仕様	45
内蔵メモリー／メモリーカードの記録可能枚数	50
付録	53
別売り品について	53
使用上のご注意.....	54
お手入れと使用／保管場所について	55
アフターサービスについて	57
リコーフォトギャラリー RING CUBE	61

各部の名称



- 1 端子
- 2 レンズロックボタン
- 3 ボディ側マウント

機器のバージョンアップ

ファームウェアのアップデート

初めてレンズマウントユニットをボディに取り付けたときにボディのファームウェアのバージョンアップが必要な場合は、自動でバージョンアップ機能が起動します。以下の手順に従ってボディのバージョンアップを行ってください。

ファームウェアのバージョンが最新の場合は、自動バージョンアップ機能は起動しません。そのままご使用ください。


- 1 ボディの電源がオフになっていることを確認し、レンズマウントユニットをボディに取り付ける**
 - ・ 取り付け方法の詳細についてはボディの使用説明書を参照してください。
- 2 ボディの電源をオンにする**
 - ・ ファームウェア更新の確認メッセージが表示されます。

3 Fn1/Fn2 ボタンで [はい] を選択し、MENU/OK ボタンを押す

- ・ファームウェアのアップデートが開始され、画像モニターに以下のメッセージが表示されます
[ファームウェアをチェックしています。]
[ファームウェアのアップデート中です。]
カメラが再起動し、バージョンが表示されてアップデートが完了します。



メモ

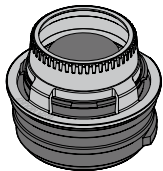
- ・アップデート実行時は、レンズを装着する必要はありません。
- ・ファームウェアのバージョンを確認するには、セットアップメニューで [ファームウェアバージョン] を選択します。また、電源がオフの状態でも、ボタンを押しながら  (再生) ボタンを約 1 秒以上押し続けても、ファームウェアのバージョンが約 20 秒間表示されます。
- ・ファームウェア情報については、弊社ホームページ (<http://www.ricoh.co.jp/dc>) をご覧ください。

レンズを取り付ける

レンズが使用できるか確認する

お持ちのレンズがレンズマウントユニットに装着できるか確認します。

- 1 チェッカーの穴とレンズマウントのツメを合わせ、チェッカーをまっすぐにレンズにはめ込む
・ 軽く載せるようにはめてください。



2 レンズを平らな場所に置き、真横から確認する

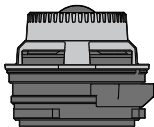
- ・チェッカーとレンズ側マウントのフランジ面が密着していることを確認します。次の場合は使用できません。

チェッカー上部からレンズが飛び出している

チェッカーとレンズマウント面にすきまができる



使用可能



使用不可



使用不可



注意

- ・装着不可のレンズを無理に取り付けると、レンズやマウントユニットを傷付けたり、破損の原因となることがあります。
- ・チェッカーをレンズマウントに無理に押し込まないでください。また装着時にレンズを傷付けないようにしてください。
- ・沈胴式のレンズの場合は、レンズを沈胴させた状態で確認してください。
- ・装着可能なレンズについては、弊社ホームページ (<http://www.ricoh.co.jp/dc>) でご確認ください。ただし、レンズの状態によっては装着できない場合がありますので、チェッカーで確認してからご使用ください。

レンズの取り付け

- 1 レンズの指標とレンズマウントユニットの赤指標の位置を合わせてレンズをまっすぐに取り付ける
- 2 レンズのロック溝にレンズロックピンが合うまでレンズを右に回す

レンズの取り外し

- 1 レンズロックボタンを押しながらレンズの指標とレンズマウントユニットの赤指標の位置がかみ合うまでレンズを左に回す
- 2 レンズをまっすぐに取り外す




注意-----

レンズについての詳細は、レンズの使用説明書等を参照してください。

センサーを清掃する

センサーをクリーニングするときは、以下の手順で行ってください。

- 1 電源を入れる
- 2  ボタンを押しながら電源スイッチを OFF 側にスライドさせる
 - ・シャッターが開いた状態で電源が切れます。
- 3 市販のプロアーでクリーニングを行う
- 4 クリーニングが終わったら、再度電源を入れてから電源を切る



注意

- ・センサーやシャッターには触れないでください。
- ・センサーに強い光が長時間当たると退色する可能性があります。シャッターを開いたまま放置しないでください。
- ・セットアップメニューの [シャッター初期状態選択] を [開] に設定すると、電源を切ったときに常にシャッターが開いた状態になります。

- ・ スプレー式のプロアーは使用しないでください。
- ・ プロアーの先端は、マウントより中に入れしないでください。
- ・ 清掃によってキズが付いてしまった場合、修理は有償となります。クリーニングの際は、十分注意してください。

撮影モード

フォーカスについて

フォーカスはMF（マニュアルフォーカス）のみですので、レンズでフォーカスを合わせてください。



メモ

「撮影時画面拡大」(P.28) や撮影設定メニューの「フォーカスアシスト」(P.35) を使用すると、ピントが確認しやすくなります。

P：プログラムシフトモード／A：絞り優先モード

P：プログラムシフトモードとA：絞り優先モードは、📷：オート撮影モードと同じ動作になります。

S：シャッタースピード優先モード

シャッタースピード優先モードでISO感度を[AUTO]または[AUTO-HI]に設定した場合、ISO感度の範囲内で適正露光になるように調整されます。

M: マニュアル露光モード

マニュアル露光モードで ISO 感度を [AUTO] または [AUTO-HI] に設定した場合、ISO 200 に固定されます。

また、シャッタースピードで B (バルブ) と T (タイム) が選択できます。B はシャッターボタンを押し続けると露光され、離すと露光が終了します。T はシャッターボタンを押すと露光が始まり、もう一度押すと露光が終了します。どちらも 180 秒経過すると、強制的に撮影が終了します。



メモ -----

B と T は、別売り品のケーブルスイッチ (CA-1) でも操作できます。

SCENE モードの追加

シーンモードに [ミニチュアライズ]、[ハイコントラスト白黒]、[ソフトフォーカス]、[クロスプロセス]、[トイカメラ]、[電子シャッター] が追加されました。

[電子シャッター] では、シャッター音や振動を気にせずに撮影できます。シャッタースピードは 1/8000 秒～ 1 秒が設定できます。



注意

- [電子シャッター] は、画面の上下で露光時間にずれがあるため、手ブレに注意してください。また、動く被写体には適しません。
- [電子シャッター] では、ISO 200 は設定できません。

撮影時画面拡大

MENU/OK ボタンを長押しすると、中央部を拡大表示します。再度 MENU/OK ボタンを長押しすると、中央部を画面全体に拡大表示します。再度 MENU/OK ボタンを長押しすると、拡大表示から通常表示に戻ります。

☺ (セルフタイマー) ボタンを長押しする、または撮影設定メニューの [拡大表示倍率] を選択すると表示倍率を設定できます。+/- ボタンで [2 倍]、[4 倍]、[8 倍] から選択し、MENU/OK ボタンを押します。

方向キー (+/- / Fn1 / Fn2) で拡大表示位置を移動することができます。



メモ

- 全体拡大表示中に露出補正を行った場合、またはダイレクトボタンを操作した場合は、通常表示に戻ります。
- 画面全体に拡大表示する前に AE ロックしていた場合、拡大中も AE は追従しますが、ロックされていた AE 値で撮影されます。
- キーカスタム設定メニューの [Fn1 / Fn2 ボタン設定] に [撮影時部分拡大]、[撮影時全体拡大] の機能を登録できます。

アップダウンダイヤルの機能追加

フラッシュモードとセルフタイマーを設定するとき、アップダウンダイヤルを使っても、モードを切り替えることができます。

オートリサイズズームの対応サイズ追加

オートリサイズズームは、すべてのアスペクト比に対応しました。

撮影設定メニュー

【画質・サイズ】

【画質・サイズ】で設定できる画質モード、画像サイズおよびアスペクト比は以下のとおりです。

撮影した静止画のファイルの大きさは、画質モードと画像サイズの組み合わせによって決まります。動画の場合は【動画サイズ】を選択します。

静止画の場合

設定項目	アスペクト比	圧縮率	画像サイズ
RAW	16:9 *2	FINE/NORMAL/VGA *1	4288 × 2416
	4:3	FINE/NORMAL/VGA *1	3776 × 2832
	3:2 *2	FINE/NORMAL/VGA *1	4288 × 2848
	1:1 *3	FINE/NORMAL/VGA *1	2848 × 2848
L (Large)	16:9 *2	FINE/NORMAL	4288 × 2416
	4:3	FINE/NORMAL	3776 × 2832
	3:2 *2	FINE/NORMAL	4288 × 2848
	1:1 *3	FINE/NORMAL	2848 × 2848
M (Middle)	16:9 *2	FINE/NORMAL	3456 × 1944
	4:3	FINE/NORMAL	3072 × 2304
	3:2 *2	FINE/NORMAL	3456 × 2304
	1:1 *3	FINE/NORMAL	2304 × 2304

設定項目	アスペクト比	圧縮率	画像サイズ
5M	4:3	FINE	2592 × 1944
3M	4:3	FINE	2048 × 1536
1M	4:3	FINE	1280 × 960
VGA	4:3	FINE	640 × 480

*1 [RAW] を選択した場合は、同時記録 (JPEG) の設定です。

*2 撮影範囲に合わせて、画像モニターの上下が黒く表示されます。

*3 撮影範囲に合わせて、画像モニターの左右が黒く表示されます。

動画の場合

設定項目	動画サイズ
HD1280	1280 × 720
VGA640	640 × 480
QVGA320	320 × 240

【ノイズリダクション】

ノイズの軽減量を [OFF]、[AUTO]、[弱]、[強]、[MAX] から設定できます。設定によって画像の記録完了までの時間が異なります。



注意

シーンモードの [ポートレート]、[スポーツ]、[ミニチュアライズ]、[ハイコントラスト白黒]、[ソフトフォーカス]、[クロスプロセス]、[トイカメラ]、[斜め補正] では設定できません。

【ホワイトバランス】

【ホワイトバランス】 の設定項目で [白熱灯 1]、[白熱灯 2] が選択できます。白熱灯の下での撮影時に使用します。

[白熱灯 2] は [白熱灯 1] に比べて赤みを残して撮影することができます。



メモ

- ・ [白熱灯 2] を選択すると、ボディの使用説明書に記載されている [白熱灯] の設定と同じ色合いで撮影されます。
- ・ [手動設定] の DISP. でフラッシュを発光させると、フラッシュ発光時の測光結果でホワイトバランスを合わせます。

[ISO 感度]

[ISO-LO]、[ISO 250]、[ISO 320]、[ISO 500]、[ISO 640]、[ISO 1000]、[ISO 1250]、[ISO 2000]、[ISO 2500] が選択できます。



メモ

- ・ [ISO-LO] は ISO 100 相当（シーンモードの [電子シャッター] は ISO 125 相当）です。ただし、ダイナミックレンジが狭くなり、高輝度が白飛びしやすくなります。
- ・ [AUTO] 選択時、フラッシュを使用すると、最大 ISO 800 相当の感度まで上がります。

- ・ [AUTO] 選択時、フラッシュを使用しない場合の ISO 感度は、最小は ISO 200 (シーンモードの [電子シャッター] は ISO 250)、最大は ISO 400 となります。

【フォーカスアシスト】

輪郭やコントラストを強調して画像モニターに表示し、ピントを合わせやすくします。



メモ

セットアップメニューの [フォーカスアシスト選択] で、フォーカスアシストの表示方法が選択できます。(P.42)

【周辺光量補正】

-3 ~ +3 の範囲で周辺光量を補正することができます。

【ディストーション補正】

[樽型]、[糸巻き型] を選択し、それぞれ [強]、[中]、[弱] を設定して画像の歪みを補正できます。



注意

画像モニターの表示と RAW 画像は補正されません。

【色シェーディング補正】

画像の四隅の色合いを補正します。R・B それぞれ -4 ~ +4 の補正ができます。

【フラッシュ時シャッター制限】

手ブレ防止のため、フラッシュ発光時の低速側のシャッタースピードを制限します。[AUTO]、[1/2]、[1/4]、[1/8]、[1/15]、[1/30]、[1/60]、[1/125] から選択します。フラッシュ発光時は、選択したシャッタースピードより遅い速度にはなりません。



メモ

- ・フラッシュと同調するシャッタースピードは、最高で 1/180 秒です。これより速いシャッタースピードのときは、フラッシュは使用できません。また、フラッシュが発光するときは、1/180 秒より速いシャッタースピードにはなりません。外部フラッシュも同様です。
- ・スローシンクロ時は、設定は無効です。

キーカスタム設定メニュー

【マイセッティング登録】

登録場所にマイセッティング BOX [1] ~ [6] とカード [1] ~ [6] が選択できます。

【マイセッティング編集】

【マイセッティング編集】の【レンズ情報入力】で、Exif ファイルの【レンズ名称】、【焦点距離】、【F 値】が編集できます。



メモ -----


これらの情報は、撮影時の設定には影響しません。

【シャッターボタン確定】

[ADJ./DIRECT] に設定した場合、シャッターボタンを半押しすると ADJ. モードおよび DIRECT 画面の設定が確定され、撮影できます。
[ADJ.]に設定した場合は ADJ. モードの設定が確定され、撮影できます。
[DIRECT] に設定した場合は、DIRECT 画面の設定が確定され、撮影できます。撮影後はモニタリング画面に戻ります。

【ADJ. レバー設定】

[ADJ. レバー設定 1] ~ [ADJ. レバー設定 4] で [アスペクト比] の機能を登録できます。

アスペクト比を登録して ADJ. レバーボタンを押すと  が表示され、アスペクト比を設定できます。

[ADJ. ISO ダイレクト変更]

[ON] に設定すると、撮影可能な状態のときに ADJ. レバーを左右にたおして ISO 感度を変更できます。初期設定は [OFF] です。

[Fn1 / Fn2 ボタン設定]

[撮影時部分拡大]、[撮影時全体拡大]、[フォーカスアシスト]、[アスペクト比] が追加されました。

[マイセッティング削除]

[マイセッティング登録] の [マイセッティング BOX]、[カード] で登録した設定とモードダイヤルの [MY1]、[MY2]、[MY3] に登録した設定が初期値に戻ります。

【キーカスタム設定初期化】

キーカスタムの設定内容が初期化されます。



メモ

[マイセッティング登録] で設定した内容は初期化されません。

【ズームボタン設定】

[Z]/[+] ボタンに割り当てる機能を [OFF]、[デジタルズーム]、[露出補正]、[ホワイトバランス] から選択できます。

セットアップメニュー

【ISO AUTO-HI 設定】

【ISO 感度】を【AUTO-HI】に設定しているときのISO感度を切り替えるシャッタースピードと、ISO感度の上限を設定できます。

【デジタルズーム切替】

記録される画像のサイズは、オートリサイズズームの倍率によって以下ようになります。

ズーム倍率	画像サイズ	ズーム倍率	画像サイズ
約 1.0 倍	L	約 1.8 倍	3M
約 1.2 倍	M	約 3.0 倍	1M
約 1.5 倍	5M	約 5.9 倍	VGA

【ターゲット位置拡大再生】

再生の拡大表示で、撮影時にターゲット移動した位置を中心に拡大することができます。

【操作音】の変更

〔シャッター音〕は、〔M 連写プラス (Hi)〕のときに操作音が鳴ります。メカシャッターの動作時とシーンモードの〔電子シャッター〕では操作音は鳴りません。また、フォーカスが合ったときは、シャッター半押しで露出が固定されたときに操作音が鳴ります。

【撮影拡大表示解除】

拡大表示で撮影後に、拡大画面を維持するか解除するかを選択できます。[OFF] は拡大表示を維持し、[ON] は撮影後に解除されます。

【フォーカスアシスト選択】

撮影設定メニューの「フォーカスアシスト」を ON に設定しているときのモードが選択できます。

MODE1：ピントが合ったところの輪郭が強調されます

MODE2：白黒表示になり、ピントが合ったところが白く光ります

主な仕様

GXR ボディに装着したときの仕様を記載しています。

カメラ部有効画素数		約 1230 万画素
撮像素子		23.6mm × 15.7mm CMOS センサー（総画素数約 1290 万画素）
ズーム倍率		デジタルズーム：静止画 4.0 倍、動画 3.6 倍 オートリサイズズーム：約 5.9 倍（画像は VGA）
フォーカスモード		マニュアルフォーカス
シャッター スピード	静止画	1/4000 秒～ 180 秒、バルブ、タイム（撮影モード、フラッシュモードによりシャッタースピードの上限と下限が変わります。） フラッシュ同調最高シャッタースピード：1/180 秒
	動画	1/2000 秒～ 1/30 秒
露出制御	測光モード	マルチ（256 分割）／中央重点測光／スポット測光（TTL-CCD 測光式、AE ロック可能）
	露出制御モード	絞り優先 AE、マニュアル露出、ターゲット移動機能

露出制御	露出補正	マニュアル補正(+4.0~-4.0EV 1/3EV / 1/2EVステップ)、オートブラケット機能 (-2EV ~ +2EV 1/3EV / 1/2EVステップ)
露出連動範囲 (オート撮影モード・中央 重点測光時)		標準レンズ (F2.5) 使用時: 1.2EV ~ 13.2EV (ISO AUTO の連動範囲を ISO 100 の EV 値にて換算)
ISO 感度 (標準出力感度)		AUTO / AUTO-HI / ISO-LO / ISO 200 / ISO 250 / ISO 320 / ISO 400 / ISO 500 / ISO 640 / ISO 800 / ISO 1000 / ISO 1250 / ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200
ホワイトバランスモード		AUTO / マルチパターン AUTO / 屋外 / 曇天 / 白熱灯 1 / 白熱灯 2 / 蛍光灯 / 手動設定 / 詳細設定、ホワイトバ ランスブラケット機能
フラッシュ	調光方式	TTL 調光、マニュアル、外光オート (外部フラッシュ GF-1 専用機能)
	フラッシュ モード	AUTO / 赤目軽減 / 強制発光 / スローシンクロ / マニユ アル発光 / 発光禁止
	ガイドナン バー	9.6 (ISO 200 換算) 6.8 (ISO 100 換算)
	照射角度	24mm 相当 ~ (35mm 換算)

フラッシュ	発光タイミング	先幕/後幕シンクロ
	その他	外部フラッシュ GF-1 対応
撮影モード		オート撮影モード/プログラムシフトモード/絞り優先モード/シャッタースピード優先モード/マニュアル露光モード/シーンモード (動画/ポートレート/スポーツ/遠景/夜景/斜め補正/ミニチュアライズ/ハイコントラスト白黒/ソフトフォーカス/クロスプロセス/トイカメラ/電子シャッター) /マイセッティングモード
連写	連写撮影枚数 (画像サイズ [RAW] 選択時)	ノイズリダクション OFF、弱時：4 枚 ノイズリダクション強時：3 枚 ノイズリダクション MAX：3 枚
	M 連写プラス 撮影枚数 (1 組)	HI (1280 × 856)：30 枚 (24 コマ/秒) LO (4288 × 2848)：15 枚 (3 コマ/秒)
圧縮率 *1		FINE、NORMAL、RAW (DNG ファイル形式) *2
記録画素数	静止画	4288 × 2416、3776 × 2832、4288 × 2848、 2848 × 2848、3456 × 1944、3072 × 2304、 3456 × 2304、2304 × 2304、2592 × 1944、 2048 × 1536、1280 × 960、640 × 480
	動画	1280 × 720、640 × 480、320 × 240

記録データ 容量	RAW	16:9	NORMAL:約 17800KB /画面、FINE:約 19515KB /画面、 VGA:約 15587KB /画面
		4:3	NORMAL:約 18387KB /画面、FINE:約 20157KB /画面、 VGA:約 16124KB /画面
		3:2	NORMAL:約 20946KB /画面、FINE:約 22967KB /画面、 VGA:約 18337KB /画面
		1:1	NORMAL:約 13991KB /画面、FINE:約 15333KB /画面、 VGA:約 12273KB /画面
	L	16:9	NORMAL:約 2222KB /画面、FINE:約 3816KB /画面
		4:3	NORMAL:約 2315KB /画面、FINE:約 3960KB /画面
		3:2	NORMAL:約 2615KB /画面、FINE:約 4493KB /画面
		1:1	NORMAL:約 1761KB /画面、FINE:約 3009KB /画面
	M	16:9	NORMAL:約 1475KB /画面、FINE:約 2509KB /画面
		4:3	NORMAL:約 1574KB /画面、FINE:約 2662KB /画面
		3:2	NORMAL:約 1744KB /画面、FINE:約 2968KB /画面
		1:1	NORMAL:約 1186KB /画面、FINE:約 2003KB /画面
	5M	4:3	FINE:約 2287KB /画面
	3M	4:3	FINE:約 1474KB /画面

記録データ 容量	1M	4:3	FINE：約 812KB / 画面
	VGA	4:3	FINE：約 197KB / 画面
電池寿命			CIPA 規格準拠 DB-90 使用時：約 330 枚 *3
外形・寸法			レンズマウントユニットのみ： 79.1mm（幅）× 60.9mm（高さ）× 40.5mm（奥行き） （CIPA ガイドラインによる） ボディ装着時： 120.0mm（幅）× 70.2mm（高さ）× 45.7mm（奥行き） （CIPA ガイドラインによる） フランジバック：27.8mm
質量			レンズマウントユニットのみ：約 170g ボディ装着時：約 370g（バッテリーおよび SD メモリーカードを含む）
使用温度範囲			0℃～ 40℃
使用湿度範囲			90% 以下
保存温度範囲			-20℃～ 60℃

*1 画像サイズにより、設定できる圧縮率が異なります。

*2 RAW と同サイズの Fine/Normal または VGA の JPEG を同時記録。DNG ファイル形式は RAW 画像ファイル形式の 1 つで、アドビシステムズ社が提唱する標準ファイル形式です。

*3 枚数はあくまでも目安です。長時間ご使用になる場合は、予備電池の携帯をお勧めします。

内蔵メモリー／メモリーカードの記録可能枚数

内蔵メモリー／メモリーカードの容量別、画質／サイズ別の記録可能枚数の目安として、画質が FINE の場合は以下のとおりです。

静止画モード

圧縮率	画像サイズ	内蔵	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
RAW* FINE	4288 × 2416	4	49	100	197	404	810	1625
	3776 × 2832	4	47	97	191	391	784	1573
	4288 × 2848	3	42	85	168	343	688	1380
	2848 × 2848	5	63	128	251	513	1029	2065
L FINE	4288 × 2416	21	235	476	935	1912	3830	7684
	3776 × 2832	20	227	462	907	1854	3715	7453
	4288 × 2848	18	200	407	799	1633	3272	6565
	2848 × 2848	27	299	608	1195	2442	4893	9815
M FINE	3456 × 1944	32	357	724	1419	2902	5814	11662
	3072 × 2304	30	337	683	1341	2741	5491	11014
	3456 × 2304	27	302	614	1206	2466	4941	9913
	2304 × 2304	41	447	903	1774	3627	7267	14578
5M FINE	2592 × 1944	34	373	758	1490	3045	6101	12238

圧縮率	画像サイズ	内蔵	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
3M FINE	2048 × 1536	53	581	1182	2321	4744	9503	19063
1M FINE	1280 × 960	96	1059	2118	4160	8505	17039	34181
VGA FINE	640 × 480	395	4316	8778	17237	35231	70579	141581

* [RAW] を選択した場合は、同時記録 (JPEG) の圧縮率です。

動画モード

画像サイズ	内蔵	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
1280 × 720 24 コマ/秒	21 秒	3分 49 秒	7分 46 秒	15分 58 秒	31分 10 秒	62分 26 秒	125分 15 秒
640 × 480 24 コマ/秒	1 分	11分 2 秒	22分 27 秒	46分 10 秒	90分 7 秒	180分 32 秒	362分 9 秒
320 × 240 24 コマ/秒	2分 25 秒	26分 24 秒	53分 43 秒	110分 27 秒	215分 35 秒	431分 52 秒	866分 19 秒



注意

1 回の撮影で記録可能な動画は最大 4GB までです。画像サイズが 1280 × 720 の場合は約 15 分、640 × 480 の場合は約 46 分、320 × 240 の場合は約 90 分までです。



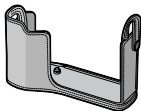
メモ

画像サイズを 1280 × 720 に設定して動画を撮影する場合は、SD スピードクラスが Class6 以上の SD/SDHC メモリーカードのご使用をお勧めします。

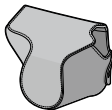
付録

別売り品について

本製品では、以下の別売り品が使用できます。



ボディージャケット
+ ネックストラップ
(SC-75B)



ユニットカバー
(SC-75T)



メモ

- ・ 別売り品の使用方法は、商品に付属の使用説明書を参照してください。
- ・ 別売り品の最新情報については、弊社ホームページ (<http://www.ricoh.co.jp/dc>) をご覧ください。

使用上のご注意

- 本製品に付属している保証書は、国内のみ有効です。
- 外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービス、その費用の弊社への請求は、ご容赦ください。
- 本製品を落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
- 本製品を持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。特にレンズをぶつけないよう十分に注意してください。
- フィルターやレンズフードの装着時には無理な力を加えないようにしてください。
- 温度変化の激しいところでは、レンズやユニット内部で水滴が生じる結露という現象が発生し、ガラス面がくもったり、作動不良などを起こすことがあります。このようなところでは、一度本製品をビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。
- 撮像素子を触らないでください。
- 本製品を濡らさないでください。また、濡れた手で操作しないでください。故障や感電の原因となります。
- 端子部を汚さないように注意してください。



結露の発生しやすい状態-----

- ・ 急激な温度差のあるところに移動したとき
- ・ 湿気の多いとき
- ・ 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接あたるとき

お手入れと使用／保管場所について

お手入れ

- ・ レンズに指紋や汚れがつくと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
- ・ レンズにゴミや汚れがついたときは、直接手を触れず市販のブローアードで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。特に鏡胴周りにはご注意ください。
- ・ 海辺や薬品を使う場所で使用したあとは、特に入念にふいてください。
- ・ 万一本製品の具合が悪いときは、リコー修理受付センターにご相談ください。

- 本製品は精密機器です。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
- シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

使用／保管場所について

- 以下のような場所での使用および保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。
 - 高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 振動の激しいところ
 - 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
 - 強い磁場の発生するところ（モニター、トランス、磁石のそばなど）
- 保管はカメラにゴミやホコリがつかない様、ゴミ／ケバの発生しないカメラケース等に入れてください。
また、持ち運びする際はゴミやホコリを防止するため、ポケットなどに直にカメラを入れないでください。

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、保証書に記載された保証期間内で無料修理いたしますので、当社修理受付窓口かお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、修理にご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2. つぎの場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
 - ① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障
 - ② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除などによる故障
 - ③ 火災、天災、地変、落雷、異常電圧などによる故障
 - ④ 浸（冠）水、塩害、液体（雨水、ジュース、酒類など）かぶり、落下、衝撃、砂（泥）入り、圧力などによる自然故障以外の故障
 - ⑤ 保管上の不備（使用説明書に記載）、電池などの液漏など、カビ発生、手入れの不備などによる故障
 - ⑥ 保証書の添付のない場合
 - ⑦ 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合

3. 保証書に記載された保証期間経過後は、本製品に関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証期間内であっても、本製品について各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
5. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本製品の使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害を始めとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
7. 販売店が独自に設けている延長保証は、本製品の保証規定には適用されません。
8. 本製品の補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、5年を目安に保有しております。
9. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下などで損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるものなどは修理できない場合もあります。ご了承ください。
10. 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。

修理にお出しになる前

- ・専用ボディのチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- ・ホームページに最新の情報が掲載されていますのであわせてご確認ください。ホームページのアドレスは、使用説明書の巻末に記載されています。

修理にお出しになる際

- ・故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- ・修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。

リコーフォトギャラリー RING CUBE

RING CUBE は、いつでも、気軽に、より多くのみなさんに参加していただくためのフォトギャラリーです。

8F ギャラリースペースでは、プロ・アマを問わず多彩なジャンルの写真展を開催。9F には歴代のリコーカメラや新製品を展示しているほか、ワークショップスペースにて各種セミナーを実施しています。お気軽にご利用ください。

<http://ringcube.jp/>

東京都中央区銀座 5-7-2

三愛ドリームセンター 8F/9F (受付 9F)

開館時間：11:00～20:00 (火曜日休館)



ホームページによる情報提供

■ 製品情報

<http://www.ricoh.co.jp/dc/>

■ Ricoh Photo Style (活用&コミュニティ)

<http://www.ricoh.co.jp/dc/photostyle/>

■ サポート総合案内

<http://www.ricoh.co.jp/dc/support/>

■ 修理総合案内 (修理料金概算などの修理全般の情報)

<http://www.ricoh.co.jp/dc/support/repair/>

お困りのときは

■ よくあるご質問 (FAQ)

製品の操作・活用について <http://www.ricoh.co.jp/dc/support/faq/>
故障かなと思ったら <http://www.ricoh.co.jp/dc/support/repair/faqs/>

■ リコーお客様相談センター

ホームページ受付 <http://www.ricoh.co.jp/dc/support/contact/>



電話 0120-000475 FAX 0120-479417

受付時間：9:00～18:00 (土、日、祝日を除く)

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

修理受付

■ ホームページ／電話による修理受付

(梱包材と宅配伝票をお送りして修理品をお引き受けします)

リコー修理受付センター (リコーテクノシステムズ株式会社)

< ホームページ受付 > <http://www.rioh.co.jp/dc/support/repair/mail.html>



< 電話受付 > 0120-053956 受付時間 9:00 ~ 17:00

(土曜、日曜、祝祭日、年末年始、夏期休暇はお休みさせていただきます)

※ お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

■ 持ち込みによる修理受付

(土曜、日曜、祝祭日、年末年始、夏期休暇はお休みさせていただきます)

リコー銀座カメラサービスセンター

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-14-7 第3 リコービル 1階

受付時間 9:30 ~ 17:00 電話 03-3543-4187

リコー大阪カメラサービスセンター

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 34-5 リコービル 7階

受付時間 9:30 ~ 17:00 電話 06-6338-9092

株式会社リコー

〒104-8222 東京都中央区銀座8-13-1 リコービル

2011年8月



JA Printed in China



* L 4 5 4 1 9 7 1 *